



# ボラン・て

# 1月

「ボラン・て」の「て」は、つなぎあう人と人の「手」。手を借りたり、貸したりするためのボランティア情報をイメージして名づけました。

## ～出会い・つながり・発見！～

### —CROSS TALK (クロストーク)—

### ボラセン交流会



株式会社ドリプラ代表取締役・  
峯岸大和さん

NPO法人みかんぐみ代表理事・  
杉並ボランティアセンター  
運営委員 村一浩さん

武蔵野大学助教・清水潤子さん

高千穂大学4年・藤井詩音さん

東京女子大学4年・  
森田莉帆さん

東京立正短期大学2年・上保里桜さん

11月3日(木・祝)に行われた「ボラセン交流会」。座談会を行いましたので、内容の一部をクロストーク(対談)として掲載いたします。Z世代(※)と言われる若者に、ボランティア活動をするきっかけや活動を通じて感じたことを話していただきました。

※2面参照

### 【特集】「若い世代にもボランティアを広めるには？」

### ～ボラセン交流会 座談会より～

- 3面・・・チャレンジ！ボランティア募集  
地域とつながろう講座のご報告  
災害ボランティア運営訓練のご報告
- 4面・・・特技ボランティア発表会  
災害ワークショップ募集

この情報紙は、区内のボランティアの方々に、宛名シール貼りと、封入作業を行っていただき、発行しています。いつもご協力ありがとうございます。

# 【特集企画】 ～出会い・つながり・発見！～ —CROSS TALK(クロストーク)—

## 【座談会メンバー紹介】

<司会>

**村一浩(むらかずひろ)さん**…医療的ケア児に対する活動の他、障害理解を広める活動に取り組む。

<登壇者>

**清水潤子(しみずじゅんこ)さん**…大学で社会福祉士やソーシャルワーカーになりたい学生の教育を担当。

**峯岸大和(みねぎしやまと)さん**…中高生時代、部活の一環として障害者水泳大会にてボランティアを経験。現在も障害者水泳のボランティア活動に参加。

**藤井詩音(ふじいしおん)さん**…小学生時代、地域のキャンプに参加。大学時代はキャンプの引率スタッフとして活動。

**森田莉帆(もりたりほ)さん**…家族に誘われたのがきっかけで、小学校低学年からボランティア活動に参加。大学のボランティアサークルで知的障害の子と遊ぶ居場所づくりで活動。

**上保里桜(じょうほりお)さん**…現在幼児教育専攻。幼稚園に就職予定。子育て支援を通じ、保護者を支え、地域で安心して子育てできる地域づくりを目指す。

## Z世代が情報を得る方法

**村(司会)**：今日は※Z世代(生まれた時からすでにインターネットが存在していた、1990年代半ばから2000年以降生まれのデジタルネイティブ世代)に来ていただき、お話を聞いていきたいと思います。皆さんがボランティアの情報を得る方法を教えてください。

**藤井**：私は口コミです。友人や大学の先生の人脈で知ることも多く、人とのつながりを感じます。

**森田**：私も人づてで知ることが多いです。その後、ネット検索をしてホームページを見ます。興味のある団体で活動したいと思えば、そのまま参加フォームに入力をします。

**峯岸**：学生ボランティア団体と関わる人が多いので、ツイッター、インスタグラム(以下「インスタ」といったSNSアプリ、最近ティックトック(以下「TikTok」)で広報活動していることが多いです。

**上保**：女子はインスタやTikTokを使うことが多いです。活動の様子がわかる方がいいです。

**村**：紙(広報紙・チラシ類)は見ないですか？

**上保**：学校や駅など通学路では見かけないので、あまり見ないです。

**峯岸**：まず活動や団体を知ってもらうにはSNS。もっと深く知ってほしいときは、団体の想いが伝わる紙媒体があった方がいいと思います。

**清水**：大学生はコロナ禍で授業をオンライン受講しています。そのため、スマホやパソコンが行き



情報紙「ボラン・て」では今年度の企画として、地域活動団体や人同士のクロストークをお届けします。①話している団体・人同士が新しい発見や気づきがある②読者の方々が地域活動をするためのヒントとしていただく、そのような企画になることを願っています。

わたり、ネット検索が普通になりました。ただ、最近コンサート、アルバイト、飲み会等が少しずつ再開し、対面する機会も徐々に増えています。

## Z世代がボランティアをやるきっかけ・感じたこと

**藤井**：町のポスターよりはスマホ、SNSの方が身近です。きっかけは身近な方がいい。ボランティアをする時、どんな人がいてどんな雰囲気の団体なのかが気になるので、動画等の情報がほしいです。

**森田**：どんな人がその団体にいるのかは、とても気になります。私のサークルに入部してくれる子も、写真・動画・SNSを見て来てくれました。集合写真よりも活動中の様子が見たいです。また、団体のサイトにアクセスした後、いろいろと工程が必要だと面倒になります。ホームページなら、すぐに参加フォームがあるというように、アクセスのしやすさ、簡略化は有効だと思います。

**峯岸**：ツイッターやインスタは能動的ですが、TikTokは興味がなくてもスマホ画面にどんどん流れてくるので、情報や広告を出すにはTikTokも有効です。

**上保**：SNSはよく見ます。紙媒体もPDF化してスマホで読みます。でも、人とのつながりは必要で、大学の先生から教えてもらうことも大切にしています。

**清水**：学生生活でできないことをボランティア体験から得られると思います。学生の中には地域や人に貢献できる機会を求めている人も多くいます。ボランティア募集をするときは、自分たちの団体だということができる、という発想で情報発信していくのがよいのではないのでしょうか。

## 将来やっていきたいことは？

**藤井**：ボランティアを通じ子どもと関わり、卒業後は教職に就いて子どもの居場所づくりをしたいです。

**森田**：ボランティアで子どもと関わり、それを続けてたくて就職も決めました。就職先(児童福祉施設)でも子どもの心に働きかけていくため、学び続け、あらゆることに挑戦していきたいです。

**峯岸**：自分で会社を起業したので、SDGsに伴い、企業活動を通じて誰も取り残すことのない社会づくりをしたいと考えています。

**上保**：将来は幼稚園に就職し、保護者や子どもを支え、地域とつながれるまちづくりをしたいです。

**村**：若い世代は、社会人になってからが勝負。これまでの学びも素晴らしいですが、今後もボランティア活動を通じて生きがいにつなげてほしいですね。



←座談会の様子

# 募集

## チャレンジ！ボランティア特別企画 地域活動ことはじめ～私はコレで、ボランティアを始めました～



- 日時** 令和5年3月18日（土）  
14時～16時30分（開場13時30分）
- 会場** ウェルファーム杉並 3階  
第1・2教室（天沼3-19-16）
- 対象** 区内在住・在勤・在学の方
- 定員** 30名 **参加費** 無料
- 締切** 2月24日（金）
- 講師** 稲葉文子氏（子育てきずなサロンぐーちょきばあ代表）  
山崎武志氏（フリーボランティア）  
山城隆盛氏（マルチボランティア）  
志津壽彦氏（すぎなみムーサ理事）
- 申込受付** 持参・郵送・FAX・インターネットで申込。  
問合せは杉並区区民生活部地域課協働推進係  
すぎなみ地域大学担当 ☎03-3312-2381

# 報告

## 地域とつながろう講座～チャレンジ！ボランティア～ 障害者スポーツボランティアとボッチャ体験

12月17日（土）に、ポルテ多摩所属ボッチャ選手の渡邊健太氏・小川祐太郎氏と東京都障害者スポーツ協会の北島大輔氏を講師にお招きして、「ボッチャを通してボランティア活動」にフォーカスをあててお話しいただきました。参加者から「スポーツを通じてのボランティア活動が理解できる良い機会でした」など感想をいただき、和気あいあいとボッチャ体験をしました。

▶ 北島氏による  
講義 & 情報提供



▶ ボッチャ体験



▶ ポルテ多摩の  
渡邊氏、小川氏  
(左) (右)



# 報告

## 令和4年度 災害ボランティアセンター運営訓練

12月11日（日）に区立柏の宮公園にて杉並区災害ボランティアセンターの運営訓練を実施しました。今回はサテライトセンターの運営訓練とし、スタッフ役とボランティア役に分かれ、ボランティアの受付から活動先への送り出しの訓練を行いました。当日は近隣町会および民生委員・児童委員の方々、杉並災害ボランティアの会の方々、杉並区職員にもご参加いただき、総勢で64名の参加となりました。今後も区民のみなさまと連携しながら災害に対する取り組みを行ってまいります。



▲ ボランティアに活動内容を説明している様子  
(マッチング・オリエンテーション班)

Hello!  
登録団体さ～ん Vol.10

★杉並ボランティアセンターの登録団体を紹介するコーナー。団体登録受付中!

自然観察会の様子  
興味ある方ご連絡を

- ◆NPO法人善福寺水と緑の会
- ・活動内容: 善福寺公園の樹木を調査し、樹木マップ、花見頃マップの作成。都内近郊の自然観察会の実施。自然、地域の歴史等に関する講演会の実施。
- ・活動場所: 善福寺公園・都内近郊の公園等。講演場所は荻窪・西荻窪地区公共施設。
- ・活動日時: 不定期(年間参加者延250人)



お問合せ

杉並ボランティアセンター  
〒167-0032 天沼3-19-16  
ウェルファーム杉並4階  
TEL: 03-5347-3939 FAX: 03-5347-2063  
HP: <http://borasen.jp/>

ぼらせん.jp

検索



# 特技さん発表会



杉並ボランティアセンターでは、ボランティアで特技を披露される方(特技さん)や地域の方が出会うきっかけを作っています。今回、特技さんの紹介をし、地域の方々との交流を図ることを目的とし、「特技さん発表会」を開催いたします。ぜひ、特技さんの至高の芸をご覧ください。会場でお待ちしています！



日時: 令和5年2月17日(金) 13時30分～15時30分(開場13時15分)

場所: 特別養護老人ホーム フェニックス杉並(杉並区天沼3-19-14)

防災拠点型地域交流スペースあかつき

※コロナ感染状況に応じて会場が変更になる場合がありますのでご了承ください。

<タイムスケジュール>

内容:

13時30分 開会

13時35分～14時25分 第一部 音楽・朗読・フラダンス

14時25分～15時25分 第二部 南京玉すだれ・音楽

同時開催 体験会(A:色鉛筆塗り絵、B:シャインアート、C:自分史、D:季節の小物作り(おひなさま)、E:紅茶体験)

当日、受付・会場係  
ボランティア  
募集中!!

参加費: 無料

定員: 60名程度

申込み: お電話にて、①施設名 ②参加者代表者名 ③参加人数 ④連絡先電話番号

⑤体験会に参加希望の場合には、

事前に、A～Eを選び申し込みが必要です。(先着順)

お申込みは、杉並ボランティアセンター(☎03-5347-3939)まで

## 募集

## 団体向け 災害ワークショップのご案内

杉並で地域活動する団体として、災害時に何ができるのか?お互いがつなげるために何ができるのか? 皆さんと一緒に考える「災害ワークショップ」開催します。詳細は1月中旬頃 ホームページに掲載予定です。

日時: 令和5年2月18日(土)午後2時～4時

会場: 特別養護老人ホーム フェニックス杉並 防災拠点型地域交流スペースあかつき (天沼3-19-14)  
申込み・問合せ 杉並ボランティアセンター

## 杉並のボランティア情報紙「ボラン・て」

発行: 社会福祉法人 杉並区社会福祉協議会  
杉並ボランティアセンター

〒167-0032 杉並区天沼3-19-16 ウェルファーム杉並4階  
TEL: 03-5347-3939 FAX: 03-5347-2063

メール: info@borasen.jp ホームページ: http://borasen.jp

うるくん

杉並社協のイメージキャラクター

開所時間: 火～土曜日  
8:30～17:00

\* 祝日・年末年始はお休みです。



情報紙「ボラン・て」は、次の区内各所にも置いてありますのでご利用ください。区役所・区民集会所・区民事務所・地域区民センター・一部のゆうゆう館・図書館・駅スタンド(区内JR、地下鉄丸の内線など)・他